

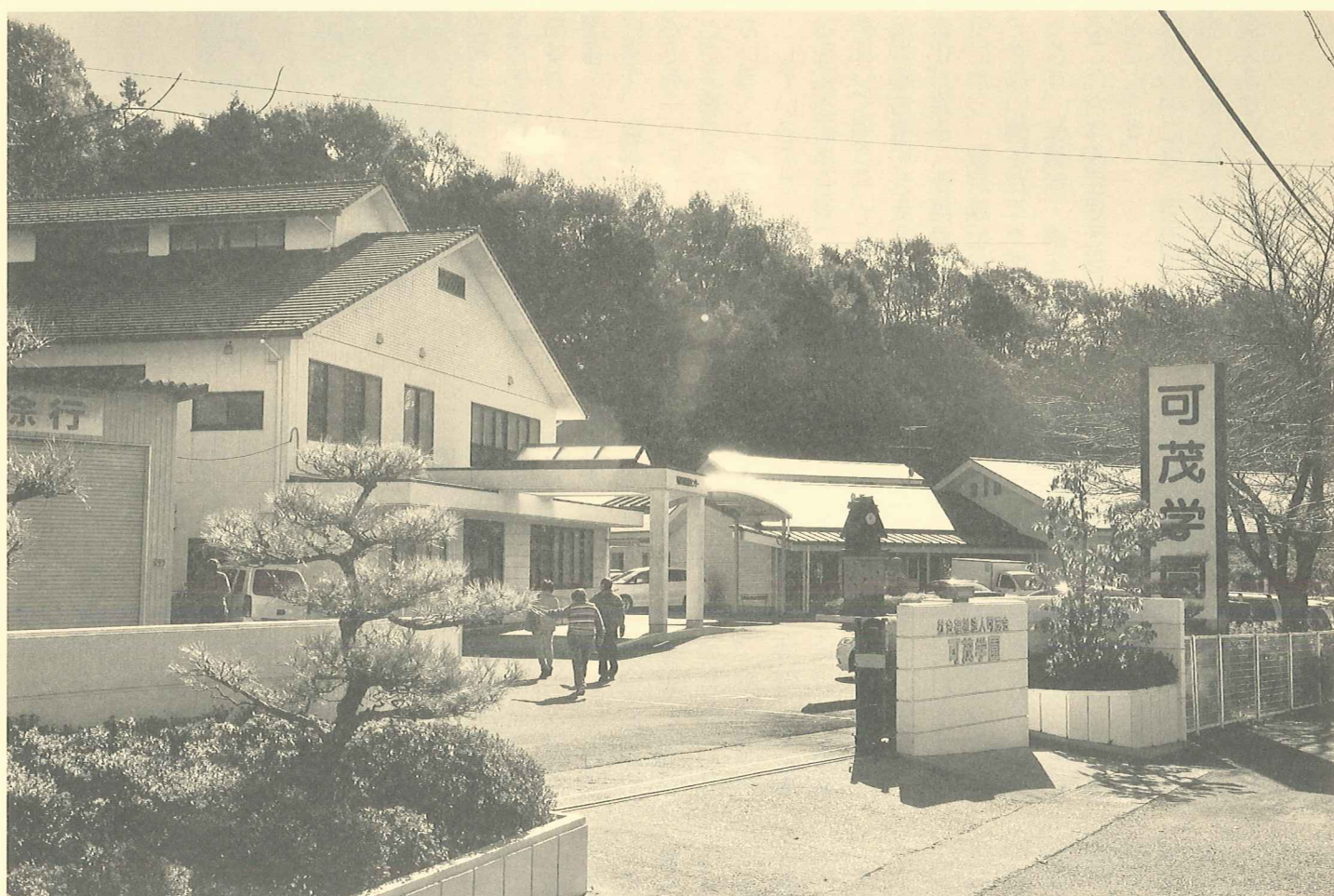
可茂会 後援会報

第19号

2011.12.1

発行

社会福祉法人
可茂会 後援会
可児市瀬田1648の9
発行者 前島 宗直
TEL 0574-64-3366



花と緑とからくり時計の

可茂学園

心を一つに

可茂会後援会会長 前島 宗直



会員の皆様には、後援会活動に対しご支援ご協力を賜りまして誠にありがとうございます。

今年は、三月十一日に東日本を襲った巨大な地震と大津波によって一万九千余の方が尊い命を落されました。家族、友人、知人、職場等、生きて行く為に築きあげて来た大切な財産を一瞬の内に大津波によって破壊され失いました。本当にくやしく、悲しい出来事でした。同時に発生した原発事故は、放射線汚染で広範囲の生活環境を悪化させました。すべての事故処理作業を完結させるには「三十年以上を要する」と言われています。

四月には、後援会から義援金を被災地の復興にお役立下さいと送らせて頂きました。又、昨年法面崩落復旧工事で中止した「夏まつり」も今年は盛大に実施する事ができました。当日は園生自治会が行なった募金箱へは、多数の方にご協力を頂きましてありがとうございます。

世の中には、時が解決する事と、



時が解決できず一生を共にする事があります。一人の力ではどうにもできない事が沢山あります。

知的障がい者の方は、生活改善、環境改善等を自分で考え要求する事はむずかしいのです。

保護者一人一人がどうすべきか真剣に考え、真剣に向き合い、保護者が心を一つにして行動して行くことが大事なことを考えます。

障がい者への政策はどう動きだそうとしているのか、現状はどうなのかを知る研修会等には積極的にご参加して頂きたいと思えます。

可茂学園も園生を支える保護者の高齢化が進み、保護者自身が介護を受けたり、家庭環境の変化で帰宅できない園生が年々増加傾向にあります。保護者・園生が健康であることが学園生活を送る上で大切なことです。

保護者の中には、可茂学園の保護者会、各種行事に全く無関心な方も見えますが、もし自宅で面倒

をみなければならなくなった時、自分たちの生活はどう変化するのでしょうか。今一度、可茂学園との契約書に目を通して頂きたいと思えます。保護者会でのご意見を要望をお聞きたいと思えます。

可茂学園も、障がい者が日常生活を援助や介護を受けながら共同生活できる「グループケアホーム」

「絆」を大切に

会員の皆様におかれましては益々御健勝にてお過しのことと存じます。日頃は可茂会後援会活動におきまして格別なる御支援、御協力いただいておりますこと心より厚くお礼申し上げます。本年は東日本における大震災と津波、原発事故、そして台風十二号による被害と日本列島が自然災害との闘いでもあったような年でありました。



は恐らく次世代までも残るであろうといわれており大きな不安を残しております。本格的な冬を前に今尚厳し

の建設も実現可能な段階にきています。地域生活への第一歩として大変喜ばしい事であります。

会員皆様のご支援とご協力がなければ、前進する事ができません。今後共よろしくお願い致します。

最後になりましたが、会員皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

園長 池田 博子

い環境の中での生活を余儀なくされている方々も多くおられます。一日も早い復興と安心、安全が確保された暮らしに戻れますことを心よりお祈り致します。

さて今年の可茂学園の夏まつりは利用者自治会役員の皆さんの提案により被災地へ義援金を送ることを目的として後援会役員皆様方のお力添えによりバザーが開催されました。大変暑い折ではありましたがおかげ様で盛況のうちに終えることができました。御協力いただきました皆様には心よりお礼申し上げます。募金箱の現金とバザーの売り上げは利用者さん、職員で中日新聞可児支局へお届けいたしました。

今年の漢字を一字で表すと「絆」

と揮毫されました。「絆」を国語辞典で繙いてみますと「断とうにも断ち切れない人の間の結びつき」とあります。震災の後、人と人との結びつきの尊さが如何に大切であるかメディアを通して様々な場面で報道された「絆」という言葉について今一度深く考える機会でもあったような思いがいたします。

今年は辛い・悲しいニュースが多い中であつて女子W杯の優勝という快挙がありました。「明確なビジョン、技術に裏打ちされたミスのないボール扱い」と世界は優勝を称えそのチームワークの良さを

東海北陸大会に参加して

私は第三部会に参加しました。

近年障がい者を取り巻く環境は、目まぐるしく変化しています。利用者負担を応能とする新しい制度を平成二十五年八月までに、実地するように進めている所ですが何より大切な事は、どのような制度であれ障がいに対する理解のもと障がい者が自らが選択、決定する制度でなければ、ならないことだと思ひます。

地域のつながりや人と人とのつながりが、いかに大切か感じさせられます。誰しもが住み慣れた地

を称賛いたしました。なでしこジャパンに優勝をもたらせた要因にはきつと強い「絆」があったことと思ひます。

最後になりましたがこれまで後援会会員の皆様からお寄せいただいた、御支援、御協力を「絆」として可茂学園は地域の社会資源の役割りを果たして参ります。何卒今後ともよろしくお願い申し上げます。そして皆々様の御多幸、御健勝をお祈り致しまして第十九号の後援会だよりとさせていただきます。

長瀬 邦夫

域で暮らしていくには、公的サービスの充実に加え地域の助け合いなしでは成り立たないと言えます。知的障がいのある人達が地域で、安心、安全に暮らし地域の一員として共に生活出来る社会を求め自分らしく生きられる事を願ひます。まだまだ沢山の問題があります。が、現実としては、地域で支えあうと言つ事は言葉だけで程遠い事です。障がいを持つ家族みんなが頑張り安心して地域に出られる日を願ひます。

この大会に出席して、私が感じ

た事は、保護者がなかなか連れて行く機会が少ない中で、可茂学園の職員の方々が計画され社会見学や買物学習・外食（回転ずし等）地域とふれ合う機会を多くつくって頂いています。

又健康管理面では、ハイキングやウォーキング等も行つて頂いています。

健康フェアに参加して

不用品も年々少なくなり、値段付けをしている時は、どれだけ売れるのか心配でしたが、学園のバザーは評判が良く、毎年多くの人が待つていると聞いても半信半疑でバザー当日を迎えました。

会場で品物を並べる前から、どこからともなく人が集まり、あれが欲しい、これ下さい、と次々に売れ、皆汗だくで接客し、あつと言つ間にお昼休み、麦の丘のパンも昼頃から人が人を呼び、欲しくてもパンが足りない位でお客さんもガッカリして帰られ、可哀想でしたが、完売出来て良かったです。

午後からは、在庫であつた陶器類を、来年に持ち越さない方が良いと思ひ全品値下げしてほとんど品物を売り切りました。気が付いたら人も疎らで、バザーも終つ

私が学園に行くことと利用者の方が行つてきた事を楽しくすうに話してくれます。

そんな姿を見るたびに感謝と喜びを感じています。

利用者が楽しい生活を送れるように、保護者の皆さん頑張つていきましよう。

梅田 孝子

ていました。

会員の皆さんに出していただいた品物も、多くの人に喜んで買つてもらえて、本当に良かったです。バザーに参加出来た私達も、充実した一日でした。ありがとうございました。



親睦旅行

伊良湖メロン狩りに

参加して

Y・I

十月下旬、親睦旅行で伊良湖メロン狩りへ行ってきました。天候は雨の予報だったのですが、みんなの思いが空に届いたのか、旅行中は雨も上がっていました。

伊良湖に到着し、まずはじめはこの旅行のメインでもあるメロン狩り。係員の方に、採り方の説明を受け、親子で大きくて重いメロ



ンを持って帰ろうと、ハウスの中で選んで採りました。その後は、メロンの試食。半玉は大きくて食べられないと思っていましたが食べてみると、とても甘く、あっという間に完食してしまいました。メロンの後は海見えるホテルで昼食でした。二、三組の家族で一つの丸テーブルに座り、会話をしながら、ゆっくりと食事ができました。海沿いのため、外は風が

浜名湖遊覧船コースに参加して

加藤 幸子

日頃は大変お世話になり有難うございます。三月十一日東日本大震災が起き自然の恐ろしさを知らされ全て想定外の出来事ばかり、普通に生活できる事がいかに幸せなことを考えさせられました。震災後仕事も激減し私達にも影響が出て来ている状況ですが、年に一度の親睦旅行が今年もやってきました。十月二十九日浜名湖遊覧船コースに参加しました。とても良い天候で少し汗ばむ程でしたが、絶好の行楽日和になり全て快適でした。車中では学園でのカラオケの成果を発揮し、みなさん上手に歌い和やかな時間でした。ロープウェイからの絶景、オルゴール

強かったですが、普段あまり見るこのできない海は新鮮に感じました。

帰る途中には、いくつかおみやげ屋に寄りましたが、いろいろ買っ てしまい、帰りのバスの中は、おみやげでいっぱいでした。学園に到着した時は、大雨でしたが、一日親子で旅行を楽しむことができました。大変よい思い出になりました。

ミュージアムでは巨大なオルゴールで大音響でのミュージックを聴き感嘆しました。昼食の会席料理



楽しい麦の丘

小川 一子

今年四月より娘は麦の丘へ通所させていただいています。毎日毎日楽しくすごさせていただき、一日の出来事を帰ったら瞳をかがやかせて話してくれます。こんなに充実した毎日を与えていただき本当にうれしく思います。

は普段魚嫌いな息子も刺身、焼魚等すべて美味しいと完食し親の方が驚く程でとても満足した様子でした。一時の遊覧船ではデッキでの風を感じ景色を堪能し、少しうとくいい気分でした。又親子睦まじくアイスを分け合い食べてみえる微笑ましい姿もありました。予定されていた行程が前後し学園到着が大幅に遅れ遠方の人達は大変だったと思いますが、職員の方々の各個所での見守等によって何事もなく無事に楽しい一日が過ごせたことを感謝致します。有難うございました。学園に着くなり「疲れた」の一言。老いを感じる次第ですが震災後目にする絆の文字、こうした行事は必要ではと感じました。

☆ ☆ ☆



平成二十三年度配分事業として、岐阜県共同募金会様より「可茂学園舎外壁塗装改修工事」へのご助成を賜り、平成二十三年十二月六日に改修工事が完了いたしました。

可茂学園舎が生まれ変わりました。

岐阜県共同募金会様のご助成で、

日々の仕事の中で支援員や先輩方の仕事振りを見ることで自分もそのような仕事がやりたい、また、なりたいと思う、よりがんばる気持ちが強くなり努力しているようです。そして、体験させていたただいた時に満足感が高まり、また次のステップに進みたいと意欲がもててくれました。日々関わって

ただいているスタッフ方々のご支援のおかげと感じております。

私ども親達は先の見えない道ですが、この不安定な社会状況の中において、今後可茂学園がより良くなっていくには、保護者会の活力が必要であり、そのためには努力は惜しまず活動し参加していかなくてはと改めて感じています。

当施設は、平成三年から知的障

がい者福祉サービス事業を実施しておりますが、築二十年を経た園舎の外壁のひび割れや欠け等の経年劣化が顕著となりました。園舎外壁の軽量気泡コンクリートは、軽量で断熱性、保水性があるなど優れた外壁材ですが、吸水性があるため劣化すると雨水が浸み込みさらにもろくなるという欠点があり、放置すれば鉄骨の腐食等二次的被害につながるのではと懸念をしておりました。今回塗装改修工事を施工して、安心を手に入れるとともに、外壁塗装の色の選択も良く二十年前の新築以上の輝きを取り戻すことができました。

赤い羽根共同募金のご助成に心より御礼を申し上げます。

平成22年度 社会福祉法人可茂会後援会決算書

収入の部

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	比較増減	摘 要
1. 会 費	1,660,000	1,567,000	-93,000	
特別会員	150,000	60,000	-90,000	30,000×2□
正 会 員	1,200,000	1,190,000	-10,000	10,000×119□
育成会員	180,000	207,000	27,000	3,000×69□
賛助会員	130,000	110,000	-20,000	1,000×110□
2. 雑 収 入	35,000	55,591	20,591	バザー売上等
3. 前 期 繰 越 金	2,777	2,777	0	
合 計	1,697,777	1,625,368	-72,409	

支出の部

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	比較増減	摘 要
1. 会 議 費	20,000	9,163	-10,837	弁当代
2. 事 務 費	575,000	426,000	-149,000	
通 信 費	10,000	5,940	-4,060	切手代
印刷製本費	65,000	55,650	-9,350	会報印刷代等
事務消耗品費	10,000	4,410	-5,590	コピー用紙代
施設整備費	420,000	360,000	-60,000	草刈業者委託
雑 費	70,000	0	-70,000	夏祭り協賛金
3. 振 込 手 数 料	3,000	1,660	-1,340	郵便振替手数料
4. 積 立 金	1,099,777	1,188,000	88,223	施設整備積立金
合 計	1,697,777	1,624,823	-72,954	

収入総額 1,625,368円
 支出総額 1,624,823円
 収支差額 545円 (次期繰越)

社会福祉法人可茂会 後援会総会報告

平成二十三年四月九日(土)

(於可茂学園福祉センター)

一、会長挨拶

二、園長挨拶
 三、議長選出
 四、議事 I

(一)平成二十二年後援会事業報告

(二)平成二十二年後援会決算報告

告と承認

(三)平成二十二年後援会特別会
計報告と承認

(四)平成二十二年後援会監査報
告

五、議事Ⅱ

(一)平成二十三年後援会事業計
画(案)の承認

(二)平成二十三年後援会予算(案)
の承認

六、平成二十三年後援会役員の
選出と承認

平成二十二年 事業報告

平成二十二年四月十日(土)

可茂会後援会総会

○平成二十一年度事業報告

○平成二十一年度決算報告と承認

○監査報告

○平成二十二年事業計画(案)承
認

○平成二十二年予算(案)承認

平成二十二年十月十七日(日)
健康フェア可児へ参加

バザー(売上金三四、八九〇円)
平成二十二年十二月一日(木)

可茂会後援会会報の発行

(第十八回二百部)
平成二十三年三月十二日(土)

可茂会後援会監事監査

可茂会後援会役員会
○平成二十二年役員加入状況に
ついて

○平成二十二年決算報告につい
て

○平成二十三年予算(案)につい
て

○平成二十三年事業計画(案)に
ついて

○平成二十二年役員選出につい
て
○平成二十二年総会の打ち合わ
せ

監査報告書

平成22年度の可茂会後援会
決算について監査の結果、その
収支は正確に処理され、また
証拠書類も整備されています。

よって平成22年度決算は適
正であることを認め、報告いた
します。

平成23年3月12日

可茂会後援会
会長 前島 宗直様

監査委員

小 椋 捷 夫

宗 畑 直 喜

平成二十三年
度

事業計画(案)

【基本方針】

社会福祉法人可茂会は、多様な
福祉サービスが、その利用者の意
向を尊重して総合的に提供される
よう創意工夫することにより、利
用者が個人の尊厳を保持しつつ、
自立した生活を地域社会において

営むことができるよう支援する目
的を、基本理念として設置され、
開設以来、可茂会「後援会」をは
じめとして多くの皆様の温かいご
理解とご支援に支えられ、順調に
施設整備の拡充を図ってまいりま
した。

平成十八年度には一連の社会福
祉基礎構造改革により、「障害者
自立支援法」が施行されました。

特別会計報告書 施設整備積立金

(単位:円)

	収 入	支 出	残 高
平成5年度積立金(郵便局定額預金)	1,436,000		1,436,000
平成6年度積立金(郵便局定額預金)	1,277,000		2,713,000
平成7年度積立金(郵便局定額預金)	1,506,000		4,219,000
可茂学園増築工事へ寄付(8年6月28日)		4,000,000	219,000
平成8年度積立金(郵便局定額預金)	1,716,000		1,935,000
平成9年度積立金(郵便局定額預金)	1,912,000		3,847,000
平成10年度積立金(郵便局定額預金)	1,726,000		5,573,000
平成11年度積立金(郵便局定額預金)	2,311,000		7,884,000
平成12年度積立金(郵便局定額預金)	2,323,000		10,207,000
福祉センター建設へ寄付(13.5.29)		8,000,000	2,207,000
福祉センター建設へ寄付(13.6.8)		2,000,000	207,000
平成13年度積立金(郵便局定額預金)	2,408,000		2,615,000
平成14年度積立金(郵便局定額預金)	2,128,000		4,743,000
平成15年度積立金(郵便局定額預金)	1,526,000		6,269,000
平成16年度積立金(郵便局定額預金)	1,422,000		7,691,000
平成17年度積立金(郵便局定額預金)	2,100,000		9,791,000
車両購入金(18.8.17)		2,100,000	7,691,000
平成18年度積立金(郵便局定額預金)	657,000		8,348,000
平成19年度積立金(郵便局定額預金)	1,374,000		9,722,000
可茂学園改修工事へ寄附(20.12.9)		3,000,000	6,722,000
平成20年度積立金(郵便局定額預金)	1,246,000		7,968,000
可茂学園テレビ3台寄付(22.2.22)		700,000	7,268,000
平成21年度積立金(郵便局定額預金)	1,300,000		8,568,000
平成22年度積立金(郵便局定額預金)	1,188,000		9,756,000

平成23年度 社会福祉法人可茂会後援会予算

収入の部

(単位：円)

科 目	22年度予算	23年度予算	比較増減	摘 要
1. 会 費	1,660,000	1,660,000	0	
特別会員	150,000	150,000	0	30,000×5□
正 会 員	1,200,000	1,200,000	0	10,000×120□
育成会員	180,000	180,000	0	3,000×60□
賛助会員	130,000	130,000	0	1,000×130□
2. 雑 収 入	35,000	35,000	0	バザーの売上
3. 前期繰越金	2,777	545	-2,232	
合 計	1,697,777	1,695,545	-2,232	

支出の部

(単位：円)

科 目	22年度予算	23年度予算	比較増減	摘 要
1. 会 議 費	20,000	20,000	0	
2. 事 務 費	575,000	575,000	0	
通 信 費	10,000	10,000	0	切手代
印刷製本費	65,000	65,000	0	会報印刷代等
事務消耗品費	10,000	10,000	0	コピー用紙代等
施設整備費	420,000	420,000	0	草刈業者委託
雑 費	70,000	70,000	0	夏祭り協賛金
3. 振込手数料	3,000	3,000	0	郵便振替手数料
4. 積 立 金	1,099,777	1,097,545	-2,232	施設整備積立金
合 計	1,697,777	1,695,545	-2,232	

その理念は障害者の就労を含めた自立支援強化であります。平成二十二年十二月「障害者自立支援法」が廃案の方向で示され、平成二十五年を目途に「障害者総合福祉法(仮)」の成立に向けて取り組まれています。このことは、社会福祉法人に対する補助についても見直しが見込まれ、従来にも増して

公的助成が厳しくなることが予想されます。今後ますます多様化する利用者ニーズに、柔軟かつきめ細やかにサービス提供できるよう努めなければなりません。そのためには、更に施設の充実や環境整備に努力する必要があります。また利用者の重度化、高齢化に伴う施設整備も必

要となります。それらの環境整備の資金作りの援助を目的とします。

【重点目標】

一 組織強化活動

① 会員の拡大

② 情報の収集と提供、広報活動の推進

③ 会員相互の連携と協同活動の促進

二 各種会議の開催

① 総会の開催 年一回

② 役員会の開催 年八回

③ 監事会の開催 年一回

三 調査・広報活動

① 後援会会報の発行 年一回

② 会員拡大に必要な広報活動

③ 健康フェア可児への参加

(バザー) 十月十六日

四 施設整備の助成事業

① 園舎周辺の環境整備(業者委託)

五 法人運営費の助成事業

① 施設整備積立金へ積み立てる

平成二十三年

可茂会後援会役員

会 長	前 島 宗 直
副 会 長	山 田 利 夫
理 事	高 木 洋 一
理 事	四 之 宮 賢 治
会 計	梅 田 實 美
書 記	樋 口 ち か 子
監 事	小 椋 捷 夫
監 事	桑 畑 直 喜

可茂会後援会にご加入を

年間会費

特別会員	—	三万円
正 会 員	—	一万円
育成会員	—	二千元
賛助会員	—	一千元

皆さんで、可茂学園施設整備資金確保に向かつて、新会員のご加入をお勧めください。

可茂会後援会事務局
TEL 六四・三三六六

可児市文化創造センターで、10月16日(日)に開催されました『健康フェア可児』でバザーを行いました。
売上金は45,965円でした。
皆様のご協力ありがとうございました。

平成二十三年度

後援会員名簿

= 敬称略 =

◆特別会員

〔一〇〕 エース薬局広見店

寿和工業(株)

◆正会員

〔五〇〕 (株)三宅設計

〔三〇〕 長瀬 邦夫 前島 宗直

〔二〇〕 ジェイアイシーセントラル(株)

(株)日本空調岐阜

堀 一男 谷口 義晴 村瀬 正樹

宮川 春子 山田 利夫 揖斐 好久

山本 孝盛

〔二〇〕 (株)新興設備

(有)中部プロパンガス商会

ヘアーサロンすぎき鈴木善好

(有)フエニックス

(有)伊藤電気工事

吉田整備(株)

(株)山岡興業

可児市建設業協同組合

(株)濃飛葬祭

小堺電気工事(株)

池田 博子 日比野邦彦 加藤 廣子

栗畑 直喜 加藤 高史 可児 薫

渡辺 直子 渡辺須磨子 長谷川紀子

長瀬 洋子 花井 哲郎 花井 一彦

前島三枝子 曾木登美子 大島 政子

遠藤 俊昭 小島 孝三 後藤 富雄

◆育成会員

〔三〇〕 加藤 孝子

〔二〇〕 生田 庄作

〔二〇〕 長谷川伸二

〔二〇〕 生田 富夫

〔二〇〕 栗畑千代美

〔二〇〕 加藤 拓男

〔二〇〕 堀田 泰史

〔二〇〕 山口 智也

〔二〇〕 伏屋 公博

生田 弘美 山田十九夫 座馬 康彦

斉藤 道夫 佐々 立夫 藤野 和彦

長瀬 勉 大矢 康雄 柘植 和廣

前田千賀子 山内 千司 安江 均

小椋 捷夫 可児 鋪雄 梅田 實美

河合 進 荻山百合子 馬場 忠外

酒向 清治 近藤なみ子 白川 清美

梶田 克己 鈴木かなえ 石原 福美

樋口ちか子 宮川 巖 内藤 寛子

高木 洋一 前澤廣三郎 藤田 秀子

狩川 正光 小川美知子 中西 敦子

〔二〇〕 和下 勉 小川 和正 辻 ヒナ子

〔二〇〕 加藤 敏明 瀬木 忠尚 市川 尚幸

〔二〇〕 亀貝 進 半澤 哲男 安江 公男

〔二〇〕 伊藤 貞行 秋元 進 山田 順子

〔二〇〕 日比野重夫 加治木龍仁 加藤 宣夫

〔二〇〕 四之宮賢治 上田 重博 渡辺 淳

〔二〇〕 千葉 進 勝野 修 一瀬 清人

〔二〇〕 竹原 孝 堀井 幸一 森 鉄雄

〔二〇〕 後藤 邦久 堀井 泰弘 菅井 省二

〔二〇〕 奥山としみ 高木 武典 舛中 一彦

〔二〇〕 小川 裕一 宮口 信久

〔二〇〕 生田 正美 林 順二

〔二〇〕 河合 政也 井上 治次

〔二〇〕 石坂 紀子

〔二〇〕 栗畑 靖紀 栗畑 澄子

〔二〇〕 小栗 意夫 伊藤 克人

〔二〇〕 川村 雅哉 渡辺 浩英

〔二〇〕 池田 雄亮 瀬瀬 久也

〔二〇〕 伊藤 博人 丸山 豊

◆賛助会員

〔五〇〕 長谷川栄作

〔三〇〕 大嶋 久興

〔三〇〕 堀江 浩行

〔三〇〕 小島九十男

〔三〇〕 橋本 和彦

〔三〇〕 片岡 良雄

〔三〇〕 長瀬 修一

〔三〇〕 鈴木さつゑ

〔三〇〕 川合 克武

〔三〇〕 佐光千代子

〔三〇〕 村山きよ子

〔三〇〕 堀江 敏行

〔三〇〕 古田 富松

〔三〇〕 谷口 里子

〔三〇〕 尾関 英治

〔三〇〕 梶浦 芳子

〔三〇〕 向井 信

〔三〇〕 大島 正太

和田 雄樹 川合 哲也 高橋 将也

安藤 節子 藤原明日香 丸山 雅

川合圭伊子 永瀬 和子 亀谷なつみ

大原 広子 松原 裕子 佐合 真奈

今井 友香 矢嶋里佳子 栗本多恵子

瀧戸 理恵 鈴木 壽子 塚本 幸治

藤野三津子 加藤 幸子 加藤 紀子

早戸辰一郎 宮川 隆 遠藤八重子

小森きくよ 斉藤みはる 奥田 智恵

山田多美恵 長尾 誠 酒向三保子

山田 輝世 山内美代子 白村味紀子

宝亀 久代

大野 達夫 大野 滋夫

伊藤 正和 後藤 誠治

伊藤 和代 杉山 弘美

鍵谷 一 鍵谷 恵子

加藤寿々夫

平岡ゆみ子 金田 正子

長瀬 利彰 大前 浩喜

亀谷 正勝 小林 鉄男

村山 将博 長谷川敏文

梅田 早苗 川村 春子

古川 祐男 松井 征彦

上野 敏明 古田 勝

古田 静江 山本 信男

大島 辰弘 山口 展子

城本チエ子 中西 敦子

都築美智子 原科つぎ子

渡辺美知夫

長瀬 寿

(平成二十三年十一月二十日現在)